



16NJ 大会情報誌ブリテン第2号

平成24年8月発行

第16回日本ジャンボリー (16NJ)

第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー (30APRSJ)

日程 2013年7月31日(水)～8月6日(火) / 会場 山口市阿知須・きらら浜

+

## ■ ご挨拶



ボーイスカウト日本連盟  
理事長

奥島 孝康

どんな事態においても、どんな状況に対しても、しっかりと対応できる「準備」ができてるのがスカウトです。スカウトのモットーが「そなえよつねに」であるということはそのことを意味します。

1年後には「16NJ」、3年後にはいよいよ「23WSJ」です。「トゥ・タ・ブレ？」(準備は万全ですか?)。おそらく、「トゥ・ヴァ・ピアン」(万事 OK)と思われるかもしれませんが、はたしてどうでしょう。

というのは、私が聞きたいのは会場の準備ではなく、参加スカウトの訓練の状況だからです。大切なのは、一人ひとりのスカウトのレベルです。世界のスカウトに伍して、日本のスカウトがスカウトとしての「ルール」と「マナー」をしっかりと身につけた、「たのもしい」スカウトに成長しつつあるかどうか、これこそが問題なのです。

「ルール」とは「おきて」であり、「マナー」とは「ちかひ」を実践するスカウトの「心意気」だからです。規律正しく朗らかに奉仕の精神を発揮するスカウトの爽やかな行動は、世界のスカウトたちに、日本の再生について確信を抱かせることになるでしょう。それでこそ日本のスカウトです。それでこそ、後藤・三島など歴代総長の嗣子(=獅子)というものです。この機会に国内外の仲間に対して、スカウトとは「自分こそがスカウトのモデルだ」と胸を張って誇示することのできるくらいの訓練に励みましょう。

そのためには、「隊」として「班」としての訓練を十二分にこなしましょう。それが本来のスカウトの訓練です。スカウティングが、B-Pの言うように、「組織ではなく運動だ」という意味は、スカウト一人ひとりが「人間」として「ルール」と「マナー」をしっかり身につけるだけではなく、自発性・自主性を団体行動の中で活かすところにあります。つまり、社会性と公共性を身につけたスカウトのウェーブこそが私たちの目指すところです。

16NJは23WSJのプレジャンボリーです。しかし、私の16NJはそれ自体世界スカウトジャンボリーだと考えています。「プレ」であるから、手を抜いてもよいと考える人はいないでしょうが、「プレ」でも「本番」でも、スカウトにとってはそれ自体が「ジャンボリー」であることに変わりはありません。「そなえよつねに」の精神はまさしくそのことを意味しております。

スカウト諸君、がんばりましょう。今は明日に向かって前進あるのみです。

### ■ 目次

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1: 挨拶           | : 第一次輸送調査の実施    |
| 2: ジャンボリープログラム  | : 会場へのアクセス      |
| 3: 大会日程         | 7: 交代参加について     |
| : ジャンボリー会場      | : 班炊事および        |
| 4: 派遣団長会議開催の報告  | 炊事用燃料について       |
| : 16NJ・30APRSJに | 8: セーフ・フロム・ハームに |
| 関するQ&A (抜粋)     | ついて             |
| : 派遣団長会議・SC会議   | : 大会ホームページ      |
| など              | : 今後の日程         |
| 6: 参加予定申し込みについて | : 今後発行されるブリテン   |
|                 | : 問い合わせ先        |

+

## ■ ジャンボリープログラム

16NJは、23WSJ プレジャンボリーとして、スカウティングの定義、目的、原則、方法に沿ったプログラムを、現代社会における青少年のニーズや願望に適應する形で参加者に提供します。参加者は、スカウトのちかきとおきてに従い、成人の指導のもと国際色豊かな大規模キャンプを通して、個人活動、小グループ活動、集団活動に取り組むことにより、身体的、知的、情緒的、社会的、精神的成長を遂げることができます。

ジャンボリープログラムを構成するもの、それはジャンボリーを通して得られるものすべてです。モジュールアクティビティなどのプログラム、サブキャンプでの生活、世界中から集まったスカウトたちとの出会いと交流など、あらゆるものが含まれます。それらの中心に大会テーマとそれを補完する3つのコンセプトがあります。

16NJでは、次のプログラムを実施する予定となっています。

### ● モジュールアクティビティ

モジュールアクティビティは、半日または一日の単位で、場内と場外に分かれて実施されます。モジュールの構成はサブキャンプごとに異なり、隊または班単位で参加します。

### 場内プログラム

#### 地球開発村 / Global Development Village

地球規模の数多くの問題に対し、「平和」「環境」「健康」「人権」「開発」「防災」の6つの視点から見識を深め、具体的な活動に向けたきっかけを作ります。国連機関や諸団体、企業等から多彩な出展を得て、ブースが展開されます。

#### 文化 / Culture

日本各地や世界各国の音楽、踊り、衣装、工作などのバラエティ豊かな文化を体験することで、文化の多様性について楽しみながら理解し、文化に対する感謝と尊敬の念を養います。

#### 科学 / Science

自動車、新幹線、発電、電波といった最先端の科学技術を体験し、インターネット、プログラミング、飛行機の仕組みといった基本的な科学技術を学ぶことを通して工業立国日本を理解すると共に、科学技術の進歩、恩恵と問題点に対する理解を深めます。

### 場外プログラム

#### 地域社会 / Community

地域の取り組みやニーズ、生活を理解し視野を広げ

るために、山口県内の19市町の小中学校を訪問し、地元の人たちと交流します。そして、訪問地周辺で奉仕活動を行います。

#### 自然 / Nature

会場周辺でのネイチャーハイキングや自然体験型アクティビティなどを通じて、日本における生物多様性や植生、自然との関わり合いを理解して、自然への感謝の念を深めます。

#### 水上活動 / Water Activity

会場周辺の海辺や水泳施設などを利用し、身体的成長を高めるプログラムを提供します。

#### ピースプログラム / Peace Programme

広島平和記念資料館の見学や平和記念公園等での体験アクティビティに加え、場内での平和に関するアクティビティを通して、世界平和への理解を深め、平和の使者として自覚を養い、平和のネットワークを構築します。

### ● サブキャンプライフ

各サイトでの炊事や野外生活、サブキャンプ内での奉仕活動もジャンボリーの大事なプログラムの一つです。ジャンボリー期間中に、サブキャンプの一員として協力し合える仲間づくりと規則正しい生活習慣を身につけ、生活の充実を図ります。

### ● セレモニー

参加者全員が一堂に会し、開会式は Energy (エナジー: 力)、アリーナショーは Innovation (イノベーション: 革新)、閉会式は Harmony (ハーモニー: 調和) をテーマに実施します。

### ● その他のアクティビティ

各派遣団が自国の文化やスカウト活動を紹介する APR (世界) スカウトセンターやサブキャンプ・アクティビティなどに自由な時間に参加することができます。

信仰奨励エリアでは、参加者が日々の信仰活動を行ったり、他の宗教について学ぶことができます。

加えて、スカウト通信員プログラムでは、メディアの実務を体験したり、世界に向けてジャンボリーのニュースを発信することを体験できます。

### ● 広島市平和記念式典への代表スカウト表敬

各派遣団の代表スカウトが8月6日に行われる平和記念式典へ参列し、平和について共に考え、平和へのメッセージを世界へ発信します。

## ■ JIJプログラムキット配布(予告)

ジョイン・イン・ジャンボリー (JIJ) は第15回世界ジャンボリー (1979年イラン) がイラン革命の影響を受け中止となり、参加できなくなったスカウトたちが自分の国でジャンボリープログラムを体験できるように提供されたことから始まりました。16NJでは、今秋にJIJプログラムキットの発行が予定されて

います。「山口を知る」「日本を知る」「ジャンボリープログラムを知る」の3つのテーマで、様々なアクティビティが紹介されます。

16NJ参加へ向けた準備の他、大会期間中にジョイン・イン・ジャンボリー (JIJ) プログラムキットをご活用ください。

## ■ 大会日程

16NJでは以下の大会日程が予定されています。

	7/29 (月)	7/30 (火)	7/31 (水)	8/1 (木)	8/2 (金)	8/3 (土)	8/4 (日)	8/5 (月)	8/6 (火)	8/7 (水)	8/8 (木)	8/9 (金)
6:00												
7:00												
8:00						起床/朝食/国旗掲揚						
9:00												
10:00	大会運営 スタッフ入場	IST トレーニング	参加者 入場	参加者 設営	プログラム	宗教儀 礼		プログラム			参加者 退場	大会運営 スタッフ退場
11:00												
12:00												
13:00						昼食/休憩						
14:00												
15:00	大会運営 スタッフ設営	IST トレーニング	参加者 入場	開会式	プログラム	アリー ナ イベント	プログラム		自由活動/ 夕食			
16:00												
17:00												
18:00					夕食/国旗降納							
19:00										閉会式		
20:00												
21:00					夜間の活動							
22:00					就寝							

※大会日程は今後変更される場合があります。



## ■ ジャンボリー会場



※会場には6つのサブキャンプ(SC)を設け、4つのSC、2つのSCでそれぞれ二つのハブを設けます。

## ■ 派遣団長会議開催の報告

7月28日(土)～29日(日)、山口県山口市にて、第16回日本ジャンボリー派遣団長会議が開催されました。28日はジャンボリー会場となるきらら浜をおよそ1時間にわたって視察したのち、山口県セミナーパークへ移動しました。開会式に続いて、大会の概要、30APRSJや23WSJとの関係、プレ大会としての開催などの大会骨子を確認しました。その後、派遣団長や派遣団本部の役割、大会組織、派遣団の編成、ホームステイ、プログラムの全体像、派遣団提供プログラム、大会参加登録方法などについて、最新の情報を共有しました。29日は会場利用計画、配給、輸送、安全対策、広報関連などに関する説明ののち、質疑応答を行い、今後の予定などを確認しました。

今回の派遣団長会議には都道府県連盟の派遣団長ほか73人に加え、オーストラリアとマレーシアの各

連盟からも派遣団長の出席があり、また世界スカウト事務局からヨラン・ヘゲルダール戦略・教育部統括部長、同アジア太平洋地域事務局からシド・カスティーヨ ユースプログラム部長がそれぞれ出席し、国際的な会合ともなりました。

### 概要

日時／7月28日(土)12:00～29日(日)13:30  
場所／きらら浜、山口県セミナーパークほか  
参加者／県連盟派遣団長他73人、外国連盟・世界スカウト事務局4人、大会運営スタッフ34人、山口県および山口市より参席8人、合計119人

## ■ 16NJ・30APRSJに関するQ&A（抜粋）

派遣団長会議で配布したQ&Aから一部抜粋して記載します。大会に向けた準備にお役立てください。

### ● 参加隊の編成

**Q** 参加隊ベンチャースカウト(高校3年生以下)はどのように配置したらいいですか。

**A** 世界スカウトジャンボリーでは、9人のスカウトに1人の参加隊指導者で1班が編成され、参加隊指導者はサブキャンプの役割分担が求められます。そのため、年齢の高いベンチャースカウトを班長として運営する必要があります。16NJでも同じ仕組みで班と隊の運営が行われます。

また、一班あたりのベンチャースカウトの人数は定められていませんが、ボーイ年代からベンチャー年代までの年齢が偏らない班編制をお願いします。ベンチャー年代・ボーイ年代だけの班編制は、16NJ・23WSJの班と隊の運営には適しませんので、ご配慮ください。

### ● 大会運営スタッフ

**Q** 基本実施要領で参加隊1班に対して2人の国際サービスチーム員(IST)の割り当てが示されていますが、誰を対象としますか。

**A** 割り当てには次の方が含まれます：各県連盟派遣団のIST(VS年代のIST、派遣団提供プログラム担当ISTも含む)およびJDT・JCT・JMT(理事、評議員等の日本連盟の役務で委嘱された場合は除く)。  
なお、県連盟派遣団本部員はこの人数には含まれません。

**Q** ベンチャースカウトのISTに何が期待されますか。

**A** 16NJでISTとなる16歳以上のベンチャースカウトは23WSJでのISTを養成することを目的としています。従来の奉仕隊的な役割ではなく、23WSJでも活躍できるよう配慮されます。

### ● サブキャンプ

**Q** 参加隊のSCの配置はいつ頃決まりますか。

**A** 2013年3月末の確定申し込み集約後に発表される予定で、5月頃が見込まれます。なお、各派遣団の参加隊は別々のSCに配置される予定です。

**Q** 外国スカウトとの混成はどのようにになりますか。

**A** 16NJでは全体で6つのSCが配置され、外国スカウトとはそのうち2つのSCに配属されます。日本隊の中に外国隊が分散配置されることはありません。

**Q** ハブとはなんですか。

**A** いくつかのSCをとりまとめるものとしてハブが設置されます。運営面の連携ほか、クリニック、ショップなど施設面でのサービスが行われます。16NJでは、会場の区分の関係から、大きな道路を挟んで4つのSCと2つのSCそれぞれに1つのハブが設置されます。

**Q** 参加隊長間の連絡などにインターネットを利用できますか。

**A** 16NJ・23WSJではICTの活用が検討されていますので、SC運営にも導入されることが期待され

ます。併せてシンプルな情報伝達も検討されています。

## ● 派遣団長会議・SC 会議など

**Q** 派遣団としての大会への要望はどのように出せますか。

**A** 期間中に毎日派遣団長会議が開催されますので、その場で各国派遣団、各県連盟派遣団としての要望や質問を出すことができます。会議以外では派遣団サポート部が窓口となります。

**Q** 参加スカウトや参加隊指導者から大会への要望などはどのように出せますか。

**A** 大会として参加者とのパイプはサブキャンプ部が担いますので、班長から参加隊指導者、参加隊指導者から SC へと要望などを出すことができます。

**Q** 大会期間中の派遣団長会議で解決できない事項は、どのように回答を得ることができますか。

**A** 16NJ では、派遣団長会議の記録と、その場で解決できない問題に関する回答を英語と日本語の文書で、その日のうちに各派遣団へ配布する予定です。各派遣団は APR スカウトセンター内に設置されるビジョンボックス(文書受領箱)で文書を受領することができます。

## ● プログラム関係

**Q** 参加スカウトはどのプログラムに参加することができますか。

**A** 参加スカウトは SC ごとに割り当てられたスケジュールに従い、場内で実施されるモジュールア

クティビティと、1つの場外プログラムに参加します。ただし、23WSJ のプレジャンボリーとして、すべてのプログラムで外国のスカウトを受け入れるリハーサルを行うため、外国スカウトはすべての場内プログラムと2つの場外プログラムに参加します。

**Q** 各プログラムへの参加にあたって参加隊指導者の同行が必要ですか。

**A** 場内で実施されるプログラムについては同行は必要ありませんが、バスの利用の有無にかかわらず、場外に出るプログラム(地域社会、自然、水上活動、ピースプログラム)は同行が必要です。

## ● その他

**Q** 参加隊の献立表はいつ頃発表されますか。

**A** 2013年2月に発行される16NJ プリテン4号で掲載する予定です。

**Q** 大会期間中の見学者は SC に入れますか。

**A** 自団の参加者の引率がある場合のみ SC 広場まで入ることができます。

### ■ 各都道府県連盟依頼事項

現在、各都道府県連盟に次の依頼を行っております。引き続きご協力をお願いします。

1. 派遣団の編成
2. 参加予定申し込み
3. 第一次輸送調査回答
4. 派遣団提供プログラム



## ■ 参加予定申し込みについて

大会まであと1年となり、参加予定申込の時期となりました。各派遣団では「参加予定申込書」ならびに「輸送調査表」を10月末日までにボーイスカウト日本連盟事務局23WSJ オフィスまでお送りください。

### ● 参加予定申し込み

各県連盟派遣団へ送付される書式(Excel形式)にて以下の情報をとりまとめてください。

**参加隊**：スカウトならびに指導者の人数

**国際サービスチーム員**：人数、名簿(加盟登録番号・氏名)、奉仕希望部署(第3希望まで)

**県連盟派遣団本部員**：人数、名簿(加盟登録番号・氏名)

また、派遣団の規模に応じた合計予納金額(一人あたり1万円)をお知らせください。

※ブリテン1号にて掲載しました参加申し込み日程の図表に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

【誤】県連盟予定申込締切 8月末日

【正】県連盟予定申込締切 9月末日

### ■ 参加確定申し込みについて

来年の参加確定申し込み(2013年2月末:県連盟締切、3月末:日本連盟締切)ではウェブサイトを活用し、インターネット上での派遣団の名簿情報などの登録を予定しています。ご協力をお願いします。また、確定申し込みに合わせて予納金を除く参加費の残額(一人あたり4万円)とオペレーションきらら(一人あたり千円)を納入します。次号のブリテン(11月発行予定)でより詳しい情報を掲載します。

### ■ 参加費について

参加費には以下のものが含まれます。

1. 諸準備から報告書作成までの経費
2. IDカード、大会参加章(ワッペン)、大会ネッカチーフ、大会ハンドブックなどを含む参加パック
3. 7月31日夕食分から8月8日朝食分までの23食分の主食(米等)を含む食料費  
※大会運営スタッフは、7月29日夕食から8月9日朝食までの32食。
4. 炊事用等の燃料
5. 配付資料の費用
6. 会場の設備費及び運営費
7. 会期中の救護衛生費(ただし、既往症の処置、場外病院での治療、薬代は含まない。)
8. その他

## ■ 第一次輸送調査の実施

大会の集散時の輸送業務を円滑に運営するため、第1次輸送調査を実施します。各県連盟派遣団へ送付される書式にて、到着・出発予定日、希望時間帯、ルート、貨物等の情報をお知らせください。

### ● 輸送調査実施日程

**2012年**・派遣団への交通事情・輸送調査の説明

- 16NJ 派遣団長会議：7月28日・29日
- 参加予定申し込み・第1次輸送調査の実施：9月末県連盟締切/10月末日本連盟締切
- 調査内容の集計・分析、関係機関との事前協議：11月～12月

**2013年**・参加確定申し込み・第2次輸送調査の実施：1月

- 調査内容の集計・分析、関係機関との事前協議：4月～5月
- 派遣団への入場・退場日時等の通知

## ■ 会場へのアクセス

ジャンボリー会場へは、次の交通機関を利用できます。ブリテン1号掲載のアクセス情報への追加情報も含まれます。

### 1、車を利用する場合

- ①広島方面より：山陽自動車道山口南 IC から25分
- ②福岡方面より：山陽自動車道宇部下関線経由 山口宇部道路阿知須 IC から5分

### 2、公共交通機関を利用する場合

【航空機】

- ①山口宇部空港：国道190号線を利用して車で20分。
- ②岩国錦帯橋空港：山陽自動車道、山口宇部道路を利用して車で1時間30分  
※平成24年12月13日開港 羽田空港間1日4往復予定
- ③北九州空港：東九州自動車道、九州自動車道、中国自動車道、山陽自動車道、山口宇部道路を経由して車で1時間30分。
- ④福岡空港：九州自動車道、中国自動車道、山陽自動車道、山口宇部道路を経由して車で2時間10分。
- ⑤広島空港：山陽自動車道、広島岩国道路、山陽自動車道、山口宇部道路を経由して車で2時間45分。

【鉄道】

- ①東京⇒(新幹線のぞみ)⇒新山口：4時間40分
- ②新大阪⇒(新幹線のぞみ)⇒新山口：1時間50分
- ③博多⇒(新幹線のぞみ)⇒新山口：50分  
新山口駅から車で15分

## ■ 交代参加について

16NJでは、より多くの方に参加していただくために、国内参加者の参加日程の特例を次の通り定めることとなりました。

### ● 交代参加

大会の前半・後半で参加することができます。交代参加を希望する指導者は、全日程参加者と同等の業務が行えるように県連盟派遣団内で2人1組となるよう調整してください。また、国際サービスチーム員(IST)の組み合わせに際しては、同性で同年代となるよう配慮し、交代する両者で同じ希望部署となるよう調整してください。

国際サービスチーム員の参加隊1ご隊あたり8人の割当については、交代参加の場合、2人1組を1人として計算します。

※ただし、医師・看護師のように県連盟派遣団内で組み合わせが困難な有資格者・特殊技能者については、前半または後半日程の申し込みを受け付け、日本連盟で調整します。

**対象:** 下記表をご参照ください。

**参加日程:** 交代者の業務引継ぎ日を8月4日(日)とし、後半参加者は8月3日(土)入場し、前半参加者は8月5日(月)に退場します。

#### 標準参加日程

前半: 7月29日(月)～8月5日(月) 7泊8日間  
 後半: 8月3日(土)～8月9日(金) 6泊7日間

### 交代参加者参加費

40,000円(参加者一人あたりの大会参加費50,000円のうち、5日間15食分の給食費等を除いた金額)

### ● 遅参

学業により入場日に集合できない場合、遅参を認めます。

**対象:** 大学生、大学院生、高等専門学校生、専門学校の国際サービスチーム員

ただし、高校生年代のベンチャースカウトは除きます。

**参加日程:** 最長で8月4日(日)までの遅参を認め、全日程参加者と同様に8月9日(金)以降に退場します。

対象者	遅参	交代参加
■ 参加隊		
隊長	×	×
副長【ただし、各隊2人(2組4人)まで】	×	○
■ 県連派遣団		
派遣団長	×	×
副派遣団長	×	×
派遣団要員	×	○
■ 大会運営スタッフ		
ジャンボリーマネージメントチーム(JMT)	×	×
ジャンボリーコアチーム(JCT)	×	×
ジャンボリーデリバリーチーム(JDT)	×	×
国際サービスチーム員(IST)	×	○
国際サービスチーム員(IST、大学生の場合)	○	○
国際サービスチーム員(IST、高校生年代VS)	×	×

## ■ 班炊事および炊事用燃料について

16NJでは班炊事を基本とし、各班へ食材料の配給が行われます。炊事用燃料には、世界スカウトジャンボリーではガスを使用することから、16NJでもこれに合わせて、カセットガスを使用します。会場運営部等で実験、検討の上、以下のカセットガスを使用することとなりました。

大会期間中の炊事に必要となる本数※が配給されますが、カセットこんろ本体は各派遣団での調達をお願いします。なお、カセットこんろの調達にあたっては、カセットガスと同一のメーカーの適合機種をご用意ください。

※会場到着日に1～2日分程度のカセットガスを配給し、以降使用済みカセットガスと交換で新たなカセットガスが配給されます。1ご隊あたり8日間で96本を予定しています。

#### カセットこんろの斡旋販売について

ボーイスカウトエンタープライズでは、きらら浜で

の耐風実験を行ったカセットこんろの斡旋販売を行います。ご注文は他のスカウト用品と同様に県連盟または取り扱い店をお願いします。またボーイスカウトエンタープライズへの直接注文も受け付けております。

#### 炊事用燃料/イワタニカセットガス(3本組み)

品番-82028/価格900円(税込) / 本体サイズ: 68(直径)×198(高さ)mm / 使用ガス: LPG(液化ブタン) / 内容量: 250g



#### イワタニカセットこんろカセットフー風まる

品番-82025/価格5,200円(税込) / 本体サイズ: 359(幅)×278(奥行)×115(高さ)mm / ケースサイズ: 370(幅)×278(奥行)×115(高さ)mm / 重量: 約2.2kg / 点火方式: 圧電点火方式 / 安全装置: 圧力感知安全装置他 / 最大発熱量: 3.5kW(3,000kcal/h) / ガス消費量: 約250g/h

## ■ セーフ・フロム・ハームについて

「子どもの権利条約 (UN Convention on the Rights of the Child/CRC)」が国連で採択された後、世界スカウト機構は1990年パリの世界会議において各国連盟に対し「国連決議 [子どもの権利条約] についてすべての指導者への理解を進め、国家に対しこの条約を批准するための努力をすること、また成人や子供たちにも啓蒙すること」との決議を行いました。そして2002年にギリシャ、テサロニキで行われた第36回世界スカウト会議において“Keeping Scouts Safe From Harm”が採択されました。



世界スカウト事務局/  
セーフ・フロム・ハーム  
ロゴ

セーフ・フロム・ハームは、いじめ・身体的虐待・精神的虐待・無視・性的虐待・搾取などについて、スカウト同士、スカウトと成人、そして成人同士の問題としてその予防と対処法について学ぶものです。

16NJでは、WOSM (世界スカウト機構) が提供している“New e-learning on Keeping Scouts Safe From Harm”を基にした教育プログラムの導入を予定しています。大会運営スタッフならびに参加隊指導者に虐待・いじめなどについて、またそのような場面での対処法のみならず予防法について大会前に学んでいただきたいと思っております。

## ■ 大会ホームページ

大会についての情報をホームページに掲載しています。ブリテンや大会ポスターをダウンロードいただけます。



16NJ  
大会ブリテン  
第1号



16NJ  
大会ポスター

## ■ 今後発行されるブリテン

今後、以下の内容でブリテンの発行を予定しています。

### ● 16NJ ブリテン第3号: 2012年11月

大会マスコット / IST 情報 / JIJ キットの配布 / スカウト通信員・報道官プログラム / プログラム / 派遣団レセプション / 参加隊の準備訓練 / 参加確定申し込み (インターネット)

### ● 16NJ ブリテン第4号: 2013年2月

IST 情報 / 参加確定申し込み (インターネット) / 班支給品 / 会場への輸送 / 参加者の食事 / 成人スタッフの食事 / 到着・出発 / 場外モジュールアクティビティ / 文化交流デイ / 会場内の設備について / セーフ・フロム・ハームについて / ジャンボリーグッズ / デイビジターの事前登録

### ● 16NJ ブリテン第5号: 2013年5月

到着・出発 / 会場内の受付 / 派遣団の健康管理 / プログラム / セレモニー / プラザ

## ■ 今後の日程

2012年 9月 参加予定申し込み・第1次輸送調査 (県連盟締切)

2012年 10月 派遣団提供プログラム計画書提出

2013年 3月 参加確定申し込み・第2次輸送調査 (県連盟締切)

## ■ 問い合わせ先

大会についてのお問い合わせは、ボーイスカウト日本連盟事務局第23回世界スカウトジャンボリーオフィスまでお願いします。なお、大会参加に関するお問い合わせは、各県連盟の事務局までお願いします。

### 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 第23回世界スカウトジャンボリーオフィス

〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3

電話: 03-5805-2569 FAX: 03-5805-2908

E-mail: 23wsj@scout.or.jp

ホームページ: <http://www.scout.or.jp/>